

はあと ねつと

Heart Net

岩見沢市立総合病院
広報誌 2017年8月発行

Vol.
7

新任

上泉副院長・佐藤医務局長

TAKE
FREE

ご自由にお持ち帰り
ください



撮影：川越展美

- 院長あいさつ
- 新任あいさつ
- 職場紹介 地域医療連携室
- レポート 手術支援ロボットの導入
- 健康レシピ 簡単!! 夏バテ解消レシピ
- 病院からのお知らせ など

院長あいさつ

信頼される 地域センター病院をめざして



岩見沢市立総合病院 病院長 小倉 滋 明

いつも当院をご利用いただきましてどうもありがとうございます。

昨年度より準備してまいりました電子カルテシステムが、いよいよ9月25日より稼働いたします。本広報誌が発行される時期は、まさに稼働にむけて最終点検を行っている頃と思います。電子カルテ導入により、色々な形式で保存されていた患者様の医療情報が、カルテ上で統合して扱うことができ、様々な職種で情報を共有できるようになります。このシステムを有効に活用し、住民の皆様方により質の高い医療を提供できるように職員一同励んでまいりたいと思っております。

今年度前半のもう一つ大きな出来事としては、手術支援ロボット「ダヴィンチ」を購入いたしました。7月に当院で開催した中高生向けの医療体験セミナー「ブラックジャックセミナー」では、参加した中高生の皆様方に実際に「ダヴィンチ」を操作してもらいました。モニター画面に映る操作野の3D画像が非常にリアルで直観にそったものであり、現在到達しているコンピュータ画像技術の凄さを実感できて好評を博しました。そして手術への利用に向け研修を重ね、8月より本稼働しています。「ダヴィンチ」の詳しい説明は、本号に掲載されている泌尿器科診療部長片野医師からの説明に譲りますが、現時点ではこのロボット支援手術は前立腺悪性腫瘍手術のみに限られております。しかし、今後は色々な分野の手術に広がる技術であると確信しています。かなり早い段階で当院に導入することができましたので、他の分野への利用が可能になった時にはいち早く岩見沢市民の皆様方にこの新しい医療技術を提供できるように担当科の医師の方々とともに準備を進めてまいります。

医学の進歩は目覚ましいものがあるため、すべての分野において最新の医療を提供することは一つの地域センター病院だけでは難しいことです。しかし、市民の皆様方がかかる可能性が高い病気に対しては、最新で最適な医療を提供できる体制を維持できるように今後とも目指していきたいと思っておりますので、変わらぬご支援のほどをお願いいたします。

新任あいさつ

新任のご挨拶



岩見沢市立総合病院 副院長 上 泉 洋

こんにちは。

今年4月に岩見沢市立総合病院副院長を拝命した上泉です。

私は岩見沢へ北大第1外科から1992年度に初めて派遣されました。たった一年間でしたが様々な手術を経験し、非常に思い出深かったことから、岩見沢を終の棲家と思って1997年4月に岩見沢に帰ってまいりました。その時に籠に入れて連れてきた長女は20歳になりました。

私は外科と透析が専門で、今までの外科診療部長も兼任しています。今までは数々の外科手術や透析治療に専念してまいりました。外科領域では腹腔鏡・胸腔鏡手術の草分けとして多数の手術に取り組みました。透析では多臓器不全の救命のための、血液浄化療法を積極的に行いました。また血液透析患者様にとってライフラインになる内シャントの手術や、血管が駄目になってきた時に試みる経皮的血管形成術（PTA）も草分けとして取り組みました。現在は徐々に後輩の外科医師たちこれらを受け継がれていくようにしています。更に後輩達はその治療を発展させ、腹腔鏡の手術の技術認定や消化器外科専門医にも取り組んでいます。

これからの私の役割は市立病院に多数の専門医師が集い、岩見沢市の患者様が十分な治療を受けられる環境を作ることにあると考えています。安心して過ごせる岩見沢市にするためにも岩見沢市立総合病院が市民病院として機能していくように一層の努力をしていく所存です。

みなさん、これからもご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

新任のご挨拶



岩見沢市立総合病院 医務局長 佐藤 俊 哉

2017年4月に小倉院長より医務局長を任命されました。私の仕事は、医務局長、感染防止対策室長、小児科診療部長の3つです。

医務局長としてのはじめの仕事は2017年秋からの電子カルテ化です。2011年のオーダリング導入の際にも務めさせていただきましたので、今回はオーダリング更新と新規部門ソフト導入を合わせての仕上げとなります。来年のDPC化へ向けての弾みにもなるでしょう。カード決済可能になるなどサービス面での工夫もされます。

感染防止対策室長は2016年からですが、ICD（感染管理医師）として2005年から当院で仕事をしています。ICT（感染対策チーム）による感染ラウンドと環境ラウンドの実施、院内感染防止の各種対策、講習会・研修会、地域連携などにより感染対策に取り組んでいます。

小児科診療部長は2013年からです。1997年から当院小児科で仕事を続けてきました。現在4人体制で一般小児科と新生児を診ています。2003年から続く岩見沢市の日曜日小児科救急体制を維持していきたいと思っています。また周囲の小児科存続が難しくなっていく中、当院が南空知の小児科の砦として存続してゆきたいと思っています。どうぞよろしくお願い申し上げます。

職場紹介

地域医療連携室

地域医療連携室は、近隣のかかりつけ医からの紹介や札幌などで手術等を受けて退院し市立病院を受診する患者様の受け入れの手配、市立病院を退院し、他の病院・施設に転院する際の連絡調整など、患者様の受診、入退院をスムーズに行うためのいろいろな調整（病診連携、病々連携）を行う部門です。

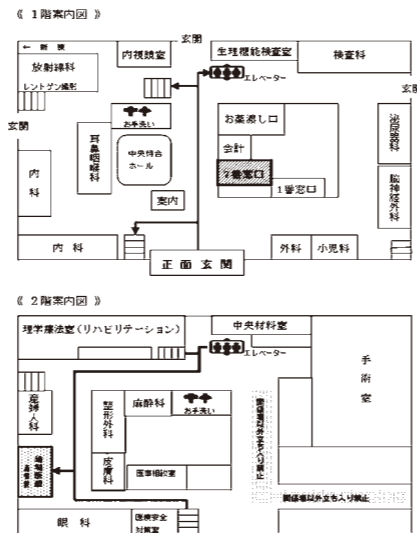
当初は、開業医の先生から当院に患者様を紹介したいけれど、どこの科にお願いするのが良いか分かりづらい、お願いしたい医師となかなか連絡が取れないなどの声を解決するために、主に受診の手配から始まりました。

最近ではそれだけでなく、当院で急性期治療を受けた患者様の次の段階の治療先を探して速やかに転院もしくは在宅医療に移れるようにする退院調整が重要になってきました。特に来年からDPC医療が始まると、適切な在院日数を保つことが重要になってくるため、退院調整がますます必要になります。

発足当初のメンバーは、医師と看護師、事務のみでしたが、昨年より精神保健福祉士（PSW：Psychiatric Social Worker）、医療ソーシャルワーカー（MSW：medical social worker）を含め統一した組織となりました。



室長（副院長）
鈴木章彦



地域医療連携とは、保健・医療・福祉の連携を図り、安心して医療を受ける環境の整備を行うことで、地域の皆さまが住み慣れた場所で安心して生活できるよう支援することを目的としています。主な業務として、患者様が医療機関に受診や入院をする際の調整を行う「前方連携部門」、入院された患者様の退院支援・調整を行う「後方連携部門」、メンタルヘルス科通院・入院中の患者様の対応・調整を行う「精神保健福祉相談室」に分かれています。

【前方連携】

地域の医療機関や施設からの患者紹介、当院から他院への患者紹介・問い合わせなどにスムーズに対応できるよう、院内外の担当医師や関係機関と連携し日程調整などを行っています。

～副室長・事務員3名が担当しています～

◆主な業務内容◆

- ◎医療機関からの外来受診・検査の相談と予約受付
- ◎当院への入院・転院に関する相談と予約受付
- ◎患者情報（処方内容・検査・治療内容・状態など）の問い合わせへの対応



【後方連携】

入院された患者様・ご家族が安心して退院できるよう、病棟・リハビリ等の関係部署や地域の関係機関（ケアマネージャーや訪問看護師など）と連携し、退院支援・調整を行っています。また、MSWによる医療福祉制度に関する相談業務も行っています。

～看護師3名・社会福祉士（MSW）2名が担当しています～

◆主な業務内容◆

- ◎退院後の在宅医療・サービスに関する相談と調整
- ◎退院後の療養先（施設入所・医療機関への転院等）の相談と調整
- ◎健康保険制度、身体障害制度などの医療福祉制度の利用に関する相談



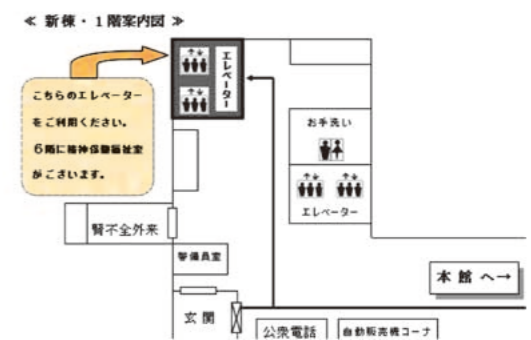
【精神保健福祉相談室】

担当医師・看護師、作業療法士等多職種と連携を取りながら、メンタルヘルス科に通院・入院されている患者様の対応や退院支援・調整を行っています。

～精神保健福祉士（PSW）3名・事務員1名が担当しています～



私たちは、新棟6階の精神保健福祉相談室にいます！



◆主な業務内容◆

- ◎退院後の在宅医療・サービスに関する相談と調整
- ◎退院後の療養先（施設入所、医療機関への転院等）の相談と調整
- ◎デイケアでの活動のサポート
- ◎訪問看護業務

*退院支援とは、病気や入院という予期せぬ人生の出来事に遭遇した患者様・ご家族に対して、この先病気や障害を抱えながら「どこで」「どのように」生きていくのかを患者様・ご家族が自己決定するお手伝いをすることです。

*デイケアとは、メンタルヘルス科外来通院中の患者様が日中活動を通して、仲間を作り、自分自身を成長させるための場所です。「楽しく会話や活動がしたい」「自分の居場所が欲しい」とお考えの方も、ゆっくり楽しみながら時間を過ごすことができます。

*メンタルヘルス科訪問看護とは、メンタルヘルス科外来通院中の患者様を対象に医師の指示のもと、看護師やPSW、作業療法士などが30分程度ご自宅に訪問して、お話を伺います。地域で安心して生活を送れるよう支援することを目的としています。

以上、私たちの職場について紹介しました。当院の地域医療連携室は、室長（医師）、副室長（看護師）、主任2名（看護師・PSW）、構成員（看護師2名、MSW2名、PSW2名、事務員3名）の計13名で、日々患者様の相談・調整・支援業務を行っています。近年の保健・医療・福祉の情勢から、よりいっそう円滑な地域医療連携が求められるようになりました。地域医療連携室が、地域の関係機関と当院をつなぐ窓口となり、患者様が住み慣れた地域で安心して過ごすことができるよう取り組んでいきたいと考えています。

手術支援ロボットの導入

泌尿器科診療部長 片野 英典



本年度当院では手術支援ロボット（Da Vinci surgical system：INTUITIVE SURGICAL社）を導入し、本年8月より稼動しております。ダヴィンチは最先端の手術支援ロボットです。1990年代に米国で開発され、1999年よりIntuitive Surgical社から臨床用機器として販売されています。1～2cmの小さな創より内視鏡カメラとロボットアームを挿入し、高度な内視鏡手術を可能にします。術者は3Dモニター画面を見ながらあたかも術野に手を入れているようにロボットアームを操作して手術を行います。

対象疾患は現在のところ前立腺がんの予定です。空知管内では初の手術支援ロボットとなります。従来の手術に比べると、合併症が少ない、入院期間が短い、麻薬性鎮痛薬の必要性が少ない、回復が早い、切開部が小さく、瘢痕がほとんど残らない、失血量、輸血の必要性が少ない等の多くの利点をもたらします。

【お問い合わせ先】

岩見沢市立総合病院 泌尿器科外来へ
医療機関からのご依頼は地域医療連携室へ



簡単!! 夏バテ解消レシピ

激うまニラだれ

倦怠感や食欲不振などで何も食べたくない・時に



<材料>

にら………1束 あらみじん
生姜………1片分 みじん
鷹の爪………1本 半分にちぎる
ごま油………適量

醤油：みりん：お酢
2：1：1
(この割合で瓶にひたひたに入る位)

One Point

ニラには胃腸を助ける硫化アリルという成分が含まれます。また疲労回復や体温を温め血行をよくしてくれる果があり、食欲不振の原因ともなるクーラー病にも効きます。疲労回復には、たんぱく質は重要です。また、血液中の糖分をエネルギーに変えるには、ビタミンB1が必要です。どちらの成分も豚肉や大豆には豊富に含まれています。

栄養科 中島 順子

<作り方>

保存瓶にニラと生姜を詰め込んだら、調味料をひたひたに注ぎ込む。鷹の爪をのせ、最後にごま油をたらして、表面に膜をはる（空気にふれない為）。翌日から食べられます

- こんな食品と一緒に・・・
- ・つるんとした水餃子にタブリかけて
 - ・塩・こしょうで炒めた豚ひき肉と、ニラだれを混ぜ、うどんと合えるだけ
 - ・冷奴や冷豚しゃぶにかけて
 - ・納豆にまぜ炊きたてご飯と一緒に

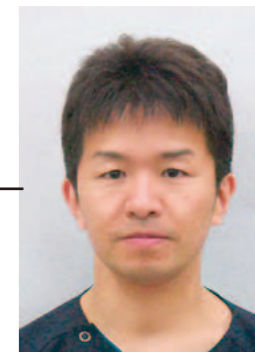
整形外科「スポーツ専門外来」開設のお知らせ

平成29年7月24日（月）から「スポーツ専門外来」がはじまりました。スポーツをしている人がスポーツ中に起きる捻挫や打撲などの怪我、また、スポーツ中の慢性的な痛み（繰り返す痛みや持続する痛み）を対象とする専門外来です。診療時間は、下記のとおりですが、部活動中に起きた怪我に対しては、可能な範囲で対応します。お電話でお問合せください。

診療時間 毎週月曜日 午後1時30分～午後4時
診療場所 整形外科外来（2階）

担当医師（整形外科 医長） 林 晴久

個々の患者さまの外傷・疾患の病態や患者さまの希望に応じて、当院リハビリテーション科のスタッフと連携して、適切に治療させていただきます。



【お問い合わせ先】 岩見沢市立総合病院 整形外科外来

7月1日
から

初診時に「選定療養費」がかかります

当院に初診で受診される場合、選定療養費1,080円がかかります。

初診時選定療養費とは

他の保険医療機関等からの紹介状なしに200床以上の病院を初診で受診した患者から徴収する費用です。

初診時選定療養費の

対象とならない初診の方

- 他の病院、医院などからの紹介状を持参した方
- 緊急その他やむを得ない事情がある場合
 - ・救急車で搬送された方で緊急の診療などを必要とする方
 - ・重度心身障がい者医療、乳幼児医療、ひとり親医療の受給対象の方
 - ・生活保護を受けられている方や、結核医療、特定疾患など、国の公費負担対象の方
 - ・休日当番病院時に診療を受けられる方
 - ・健康診断などで精密検査受診の指示を受けた方
 - ・労働災害、公務災害、交通事故、自費診療の方
 - ・当院に通院中の方が他の診療科を初診で受診する場合など。

※以前に総合病院にかかったことがあり、診察券をお持ちの方でも、前回の病気が治癒し、診療が終了した方や患者様の都合で任意に診療を中断されていた方が、再び受診された場合、選定療養費の対象となります。

【お問い合わせ先】

医事課

編集後記

はあとねっと第7号をお届けします。

短い夏があつという間に過ぎようとしています。今年7月の猛暑日には氷柱も登場し、外来の待ち時間に少しでも暑さをしのげるよう病院でも取り組んでいました。

また、今病院内では9月の電子カルテへの切り替えに向けて、急ピッチで準備を進めています。今後も『はあとねっと』を通じて、地域の皆様に新しい取り組みや診療に関する情報をお届けしていきたいと思っております。

鈴木 章彦

はあとねっと 第7号

2017年8月発行

岩見沢市立総合病院広報委員会

委員長

鈴木 章彦 (副院長)

事務局

地域医療連携室